

交流情報誌

季刊

# 新 往来

第9号 2003 6.17

編集・発行 農林水産省農村振興局農村政策課

## 第9号の内容

わがまち自慢  
わがまちの旨いもん  
私達、輝いています  
交流・連携通信  
田舎暮らしはじめてみませんか？  
Let's 農業  
アンテナショップ情報  
イベント情報



## ドイツの見える村

沖縄県上野村

沖縄本島から南へ300kmの海上に浮かぶ「宮古島」。4市町村で構成されているが、その中に「上野村」がある。人口3,300人。近年、観光産業の発展が著しい。それに火をつけたのは「うえのドイツ文化村」だ。何故、上野村にドイツ文化村があるの？それは、明治初期にドイツ帝国の商船が台風に遭遇。上野村沖で難破し沈没。これを村民が激波の中で必死の救出劇を展開。無事、乗組員を救助。本国へ帰国させた。これに感激した当時のウエルヘルム2世皇帝は、記念碑を宮古島へ贈呈し建立した。その後、上野村とドイツの交流は続き、この交流関係を後世にも語り継ごうと「うえのドイツ文化村」が誕生した。ライン川沿いにある「マルクスブルグ城」と原寸大のお城をはじめ本物のベルリンの壁も展示。ドイツ人の国際交流員も常駐。ここはドイツ国？と錯覚するほどです。全国の皆さん、ドイツ国が見える上野村に是非ともお越し下さい。



農林水産省ホームページ内に、[農村振興局農村政策課のページ](#)を作成中です。いろいろなお知らせを掲載する予定です。ぜひ一度お立ち寄り下さい。[農林水産省ホームページ http://www.maff.go.jp](http://www.maff.go.jp)

## 第9号掲載記事一覧

### ☆ わがまち自慢

… 3

- 見たい・知りたい・食べたい「海の駅わんど」  
(青森県鰺ヶ沢町)
- ボランティアで整備、わがまち自慢の不動  
(千葉県天津小湊町)
- “人と自然がひびき合い、人と人がひびき合う”  
豊後・大山ひびきの郷 (大分県大山町)
- いぐさ発祥の地／「千丁町ひのみどり会」(熊本県千丁町)
- 水とおどりの城下町「郡上八幡」(岐阜県八幡町)
- 農林水産物直売・食材供給施設  
「ふれあいドンと館」オープン (岩手県川崎村)
- 美作大学技術交流プラザ食品分科会 (岡山県津山市)
- 地域のケーブルテレビ会社  
「SWANTV」が開局しました！ (高知県宿毛市)
- 朝鮮通信使をもてなした島 広島県呉市下刈蒲町  
(広島県呉市)
- 二層うだつの町並み (徳島県貞光町)
- 湧水の妖精「梅花藻」(滋賀県米原町)
- 夜の川面に舞う白鷺～三次の鶺鴒～ (広島県三次市)

### ☆ わがまちの旨いもん

… 7

- 平家伝来 母袋燻り豆腐 (岐阜県大和町)
- 自慢のアスパラ、りんご、ぶどう (秋田県横手市)
- 清里ミルクプラント (山梨県高根町)
- 地元産大豆を原料とした「こだわり豆腐」  
(埼玉県毛呂山町)
- 無農薬の新宮茶をふんだんに使った「霧の森大福」  
(愛媛県新宮村)
- キャロットクッキング(にんじん料理レシピ集)  
(千葉県習志野市)
- 夏が旬のたけのこの王様「緑竹」(鹿児島県日吉町)
- ごへ～もち (長野県山口村)
- 稲取キンメは日本一【金目鯛のおぼろ】(静岡県東伊豆町)
- 新潟市園芸銘産品 (新潟県新潟市)
- 美味しいさつまいも(甘藷)をどうぞ (熊本県大津町)
- 日本一の生産量！「わけぎ」のまち (広島県向島町)

### ☆ 私達、輝いています

… 11

- 一度、遊びに来てみんさい！ (広島県湯来町)
- ふるさとの味かっちゃん (福井県勝山市)
- 「すそもの」からむらおこし (青森県脇野沢村)
- 花いっぱいのもちづくり活動「花クラブ」(滋賀県米原町)

- 一緒に「こねこね体験」しませんか？ (静岡県下田市)
- 農産加工グループ「土里夢(ドリーム)」  
へようこそ (岐阜県八幡町)
- 農産加工「ささゆりグループ」へようこそ (岐阜県八幡町)
- 「みず菜」を使った加工品の製造販売(京都府宇治田原町)
- 「食による都市交流と地域活性化を目指して」  
～NPO法人 京・流れ橋食彩の会の活動～  
(京都府八幡市)

### ☆ 交流・連携通信

… 14

- 広い畑で農業体験／埼玉県荒川中学校体験学習  
(北海道美瑛町)
- 作るたのしさにおもいきり感動！ (北海道八雲町)
- 都市と農村を結ぶ交流ターミナル「甲山いきいき村」  
(広島県甲山町)
- 南国土佐、土佐山田町と北海道積丹町の交流  
(高知県土佐山田町)
- 宇目町の農家民宿 (大分県宇目町)

### ☆ 田舎暮らしはじめてみませんか？… 15

- かやぶき民家で山村生活体験 (秋田県峰浜村)
- 吉和定住促進住宅入居者募集のお知らせ (広島県廿日市市)
- 「新規就農」「田舎暮らし」を希望する方必見！  
(岩手県大東町)
- 自然と共に！ (岐阜県古川町)

### ☆ Let's 農業

… 17

- 大三島町滞在型農園施設「ラントゥレーバン大三島」  
(愛媛県大三島町)
- 道の駅あずの里いちほら「お米づくり体験参加者募集」  
(千葉県市原市)
- 「はじめませんか農業！さあ、農作のフィールドへ！」  
(滋賀県長浜市)
- 花実の里「福舞里(ふぶり)プラン」スタート  
(福島県白沢村)

### ☆ アンテナショップ情報

… 18

- あだちふれあい旬感プラザ (東京都足立区)
- 女満別町アンテナショップ「ほのか」 (東京都稲城市)

### ☆ イベント情報

… 19

平成15年7月から平成15年9月までの期間に全国各地で開催が予定されているイベントの情報。

このコーナーでは、全国で唯一のもの、自称日本一のもの、是非知ってもらいたい活動や人等々各市町村からの自慢情報を紹介いたします。

見たい・知りたい・食べたい「海の駅わんど」

青森県鯨ヶ沢町



平成14年6月、「海の駅・わんど」がオープンしました。「わんど」とは、英語のワンダーランドからとった造語であり、また、津軽弁の「わんど」（私たち）という意味も含め「私たちのすてきな場所」になって欲しいとの想いを込めて名付けられたものです。

ここでは、鯨ヶ沢町の近海（日本海）で獲れたての魚や、世界遺産白神山地や津軽の秀峰岩木山からの清水で育てた農林水産物の直売所のほか、おみやげ品、お食事、観光情報など、鯨ヶ沢町の魅力や情報をギュッと凝縮し、訪れた方々が満足でお帰りになれるよう頑張っております。

また、「海の駅・わんど」2階には、「鯨ヶ沢町相撲館～舞の海ふるさと棧敷～」が併設されています。鯨ヶ沢町は昔から相撲が盛んなところで、引退した元関脇「綾川」や技のデパートと言われた元小結「舞の海」も当町の出身です。

化粧回しや貴重なトロフィーなど数多くの特別展示品を始め、大相撲の歴史がよくわかるパネル展示、名場面を収録したビデオの放映、ミニサイズの土俵など相撲ファンなら絶対見逃せないスポットです。白神山地観光の際は、ぜひお立ち寄り下さい。

お問い合わせ先：海の駅・わんど 0173-72-666

1

ボランティアで整備、わがまち自慢の不動滝  
千葉県天津小湊町



我がまちの北西・「四方木」という集落には「不動滝」という非常に美しい滝が静かに時の流れを刻んでおります。雄滝と雌滝、2つの滝で構成されるこの静かな滝は、初夏は新緑と透き通った滝との調和が目優しく、秋には紅葉が滝を真っ赤に染めてくれ、またかなりの山奥にあるため、知る人ぞ知る秘境の名所として密かに人気を集めています。

しかしここ最近、県の補助を受けて整備されていた不動滝周辺の休憩所や階段等の老朽化が進み、散策するには危険な場所となっていたところを、四方木町内会の方々が改修工事に立ち上がってくれることになりました。

町で用意した160本の枕木を土台に、デザイン・設計から工事まで、すべて「町民手づくり」のボランティアで整備に尽力していただき、今年3月、滝見台・階段・手すり等がすべて美しく生まれかわりました。

新しい滝見台から見る不動滝は見事に輝きを増し、今日も訪れる人々の目と耳と心を癒してくれるようです。

“人と自然がひびき合い、人と人がひびき合う”豊後・大山ひびきの郷  
大分県大山町



九州一の梅の産地、大分県大山町に平成14年11月“豊後・大山ひびきの郷”がオープンしました。施設は、毎年梅まつりが開催される大久保台梅園に隣接し、荒々しい岩肌と色とりどりの紅葉が眼前に迫る絶景の場所にあります。約8万平方メートルの広大な土地には、天然温泉や宿泊施設等次のような魅力的な施設があります。

お宿「あさもや」 地元産の木のぬくもりと自然光あふれる客室、周りを囲む山々と響溪谷の景観を存分に満喫いただけます。

梅の香温泉「なごり」 お風呂からのんびり眺める響溪谷の絶景と全国的にも珍しい遠赤外線低温サウナは疲れた体を癒すのに最適です。

ふるさと料理「ひびき」 きこの類や果物など大山町産の食材をふんだんに使った元気を養う滋味あふれる料理をご堪能いただけます。

リキュール工房「うしゅく」 大山町で採れた梅、すもも、ハーブ類を使った大山仕込みのリキュールを製造しています。梅の産地大山町ならではのこだわりを実感いただけます。

体験工房「こころみ」 大山町の暮らしの達人を講師として、大山町伝統の味や技を体感出来ます。

癒しのふるさと“豊後・大山ひびきの郷”でゆっくりと時の流れをお楽しみください。

<http://www.hibikinosato.co.jp>

いぐさ発祥の地 / 「千丁町ひのみどり会」

熊本県千丁町



千丁町は、い草の栽培・畳表加工を中心とした経営を主体に発展してきたが、近年、住宅の洋風化で和室が減少したことや外国産畳表の輸入増加により、い草の作付面積は減少傾向にあった。経営悪化により、い草農家は他作物への転換や離農にまで追い込まれ、産地は危機的状況に遭遇した。

このような中、千丁町の生産農家はい草発祥の地としての生き残りをかけて、従来のい草より茎が細く色ムラの少ない優良新品種「ひのみどり」と、その製品である高級畳表「ひのさらさ」「ひのさくら」「ひのさやか」のブランド確立と農業経営安定を図るため、県下で最初の生産者組織「千丁町ひのみどり会」を設立した。会の発足により「ひのみどり」を中心にい草

生産者の団結が図られ、県内における「ひのみどり」普及の牽引役となった。

また、「千丁町ひのみどり会」をモデルに県内ひのみどり生産者の組織化が図られた。

この功績が認められ、平成14年度熊本県農業コンクールの組織部門において、最優秀とされる秀賞を受賞した。

水とおどりの城下町「郡上八幡」

岐阜県八幡町



水のまち

郡上八幡は、四方を山で囲まれ、町の真ん中を流れる吉田川の透明な流れは美しく、ゆったりと水をたたえています。町の東側には石灰岩層が広がり川や谷では清冽な水が湧き出ています。代表的な湧水として環境庁の名水百選指定の「宗祇水」があります。

お城のまち

八幡山にそびえる歴史ある八幡城。現在の城郭は昭和8年に再建された日本で一番古い木造再建のお城です。城周辺は、春は桜、秋は紅葉の名所でもあります。

踊りのまち

「郡上のなあ～八幡出て行くときは、雨も降らぬに袖しぼる」の歌詞で知られる郡上おどり。四百年の昔、土農工商の融和を図るため時の城主が奨励したのが始まるとされています。毎年7月上旬から9月上旬の約30夜にわたって練りが練り広げられます。特に旧盆の4日間は数十万の人々が徹夜で踊りあかします。郡上おどりは誰でもどんな格好でも踊りの輪に加わることができる日本で一番楽しい踊りで、国の無形民俗文化財です。

農林水産物直売・食材供給施設「ふれあいドンと館」オープン

岩手県川崎村



川崎村は、岩手県南部北上山地の南端に位置し、北上川沿いにある自然豊かな村です。舟運時代は北上川を蒸気船などが往来し、港町の名残を残していることから「川の駅・かわさき」をキャッチフレーズに、川とともに生きる地域づくりを進めています。近隣には平泉中尊寺や名勝獅鼻溪があり、村を東西に走る国道284号を東に向かうと南三陸の港町気仙沼市に至ります。その国道沿いに「道の駅・かわさき」と合わせて農林水産物直売・食材供給施設「ふれあいドンと館」を整備し、4月16日にオープンしました。同施設では、地元で採れる新鮮な農産物を販売するほか、地元の素材にこだわった食事を提供します。特に、とろろ芋をふんだんに使った「ぶっかけ定食」や北上川

で捕れるモクズガニを使った「カニぱっと(すいとん)」(季節料理)がおすすめです。本村を訪れる皆さんが当地域を満喫出来るように、周辺市町村の観光・交通情報を大型スクリーンで提供していますので、ぜひ足をお運びください。お問い合わせ先・・・道の駅かわさき TEL 0191-36-5170 FAX 0191-36-5180

美作大学技術交流プラザ食品分科会

岡山県



「美作大学技術交流プラザ」は、産学官連携による新産業・新事業の育成を目指し、津山地域の産業発展に寄与する目的で、平成11年7月に発足し、テーマ毎に4つの分科会で新商品開発等に取り組んでいます。中でも食品分科会では地場食品製造業者と食物学科の先生、行政関係者等により活発な活動を展開しています。テーマに「地産地消」を掲げ、特産の山の芋を用いた日本初の山の芋焼酎の他、山の芋入りお好み焼き粉、地産の大豆と湧水による豆腐、あんぼ柿、津山ラーメン等、続々と新商品を生み出し、好評を得ています。

また、健康食品として脚光を浴びている「紅麹」を添加した食品（さくらシリーズ）として、さくらビール、さくらソーセ

ージ、桜和菓子等も商品化しています。

今後は農業関係者や消費者とも連携し、トータルでの6次産業化を推進しながら、地域産業全体の振興につながる新商品開発を目標としています。

【お問い合わせ】つやま新産業開発推進機構 TEL0868-24-0740

<http://shinsan.tvt.ne.jp/kikou.html>

地域のケーブルテレビ会社「SWAN TV」が開局しました！

高知県宿毛市



本市では、高速な情報通信網の整備、テレビ難視聴地域対策、地域情報番組の放送のため、第3セクター方式によるケーブルテレビ局が開局になりました。総務省の「平成13年度補正新世代地域ケーブルテレビ施設整備事業費補助金」を活用し、市の対象世帯で95%のエリアをカバーすることができています。

テレビ局は、宿毛駅の北側に位置し、市民の皆さんが気軽に立ち寄ることのできる施設となっており、14年10月より試験放送の開始後、この15年4月に本放送を開始しました。また、地域の情報を放送する「SWANチャンネル」では、運動会など学校関係の行事や、市内で行われたスポーツイベントなど市民の皆さんの視点に立った放送を心掛

けています。「行政チャンネル」では、各種行事、市役所からのお知らせなど市民の皆さんにわかりやすく、役に立つ放送を心掛け、今後は議会中継や講演の放送なども行っていく予定です。

これからは、市民の皆さんに「ケーブルテレビができて本当に良かった。」と言われるテレビ局にしていきたいと思います。 <http://www.gallery.ne.jp/>

朝鮮通信使をもてなした島 広島県呉市下蒲刈町

広島県呉市



瀬戸内海の中心に位置する呉市。今年の4月に合併した下蒲刈町は、江戸時代に朝鮮通信使が12回来日したうち11回も立ち寄ったという海上交通の要衝として栄えました。下蒲刈町では、現在、全島庭園化（ガーデンアイランド）構想によるまちづくりを進めていて、見どころいっぱい！おすすめ散策コースを紹介します。

まずは瀬戸の急潮を借景にした“松濤園”内の 御馳走一番館。朝鮮通信使が「安芸蒲刈御馳走一番」と絶賛した当時の料理を忠実に再現。さらに 陶磁器館には、中国・朝鮮の陶磁器をはじめ、初期伊万里、古久谷・柿右衛門など陶磁器ファン垂涎の逸品がズラリと並んでいます。道を挟んで反対側には、総ヒノキ造りの 蘭島閣美術館がドーンと建ち、横山大観や須田

国太郎ほか日本を代表する作家の作品をはじめ、瀬戸内海的美を描いたものなどを収蔵・展示しています。ちょっと疲れたら美術館上の 白雪楼で一休み。江戸時代の落ち着いたたたずまいの中で抹茶をいただくと、時間がゆっくりと流れます 島民は昔から変わらない「もてなしの心」にあふれ、瀬戸内の幸も満喫できます。歴史・文化・ホスピタリティのまち下蒲刈に、ぜひお越しください。

（問）呉市商工観光課 TEL (0823)25-3315 <http://www.city.kure.hiroshima.jp>

## 二層うだつの町並み

## 徳島県貞光町



貞光町は徳島県の中西部に位置し、清流吉野川に流れ込む貞光川の谷に開けた町です。江戸中期以降、商業と交通の要所として栄え、商家が軒を並べていたが、商人たちは成功の証として競ってうだつを上げた立派な家を造ったといわれています。「うだつ」とは、町屋の妻壁の横に張り出した神壁の事で火よけ壁とも呼ばれているが、本来は防火対策の為に造られました。「うだつが上がらない」という言葉は転じて「いつまでもぐずぐずして成長・発展がない」という意味で使われています。貞光のうだつは、重厚なうだつに加えて、前面に寿福を祈念する絵模様(鍍絵)が装飾されています。さらに、全国的にも非常に珍しい二層式になっているのが特徴です。

鍍絵は基本的には防火の願いが込められているので、水にちなんだ図柄が多く、「鯉の滝登り」「波」「亀」などの装飾がみられます。また、鍍絵や鬼瓦は現在の大工さんや技術者の技術をもってしても一度壊れたらその復元は不可能なほど精密にできています。

貞光町では、当時の趣を残そうという取り組みが高まり、平成10年4月には「貞光町町並み保存条例」を制定、同年貞光文化協会を設立するなど、保存に力を注いでいます。

<http://www.nmt.ne.jp/~sdmt/>

## 湧水の妖精「梅花藻」

## 滋賀県米原町



米原町は国土庁「水の郷百選」や読売新聞「遊歩百選」、そして滋賀県の「湖国十景」に選定された湧水の郷。醒井七湧水をめぐる「醒井湧くわく街道」は、マイナスイオンに満たされたウォーキングルートとして親しまれています。日本武尊の命を救った居醒の清水のほか、西行水、天神水、いぼとり水など、それぞれ湧水にまつわる伝説がいっぱいです。

醒井の清流である地藏川に生息する梅花藻は、キンポウゲ科の水中花です。水温が年間14前後に保たれる清流でないと生息できない大変貴重な植物で、貴重魚である「ハリヨ」も泳いでいます。梅そっくりな白い花をさかせることから「梅花藻」の名がつけました。夏の最盛期には直径1.5cmほどの愛らしい花が一斉に川面から顔を出します。夏の終わりの地藏川は、川沿いに植えられたサルスベリの花が落花して、梅花藻の白とサルスベリの紅で彩られます。清流にただよう神秘的な姿はまさに湧水の妖精です。

毎年7月の夜には、幻想的な「梅花藻ライトアップ」が行われ、光に照らされた梅花藻の煌きが人々を涼ませてくれます。 お問い合わせ先：米原町まちづくり課 TEL 0749-52-155 <http://www.maihara.com>

## 夜の川面に舞う白鷺～三次の鵜飼～

## 広島県三次市



「三次(みよし)の鵜飼」は約四百年の歴史をもつ伝統文化で、永禄年間にこの地方で毛利氏と攻防戦をくりかえして敗れた尼子の落武者が、江の川畔に住みついて陸上より水鳥を使って鮎をとったのが始まりといわれています。その後寛永の世にいたって藩主・浅野長治がいろいろと改良工夫を加え、現在のような鵜匠が浮小舟の上で数羽の鵜を操って鮎をとるようになりました。

三次の鵜飼は毎年六月一日から八月三十一日にかけて行われます。夜のとばりが川面を包む頃から始まる情緒豊かな鵜飼のかがり火は江の川に映えて美しく、涼しい川面に吹かれながら若鮎を追う鵜の姿は、三次の夏の風物詩です。

また、三次市の友好都市である中国の稚安市から送られた白色の鵜による鵜飼を見ることができるのは全国でも唯一三次の鵜飼だけです。

<http://www.city.miyoshi.hiroshima.jp/>

このコーナーでは、地域の特産物や名物料理など「食」に関する情報を紹介いたします。

平家伝来 母袋燻り豆腐

岐阜県大和町



大和町上栗巣地区に、集落としては標高650mと本町で一番高所に位置する母袋地区があります。この地区の山道は、古くは交通の要所として人々の往来が盛んな地区でもありました。この地区は、冬季は厳しい寒さと大雪に見舞われることから、保存食の意味合いをもつ堅い豆腐作りが行われていました。そして、現在から約750年前の鎌倉時代に平家の落人がその製法を伝授したといわれる大豆を大量に使って豆腐を作り、長時間桜材をもちいて薫製に仕上げた全国でもめずらしい「平家伝来 母袋燻り豆腐」があります。

発売以来、好評を博し、全国特産品コンテストにおいて、日本最高位の金賞にあたる「中小企業庁長官賞」を受賞しています。チーズにも似た高級嗜好品として、本品を適当な厚さに切

ってご賞味ください。マヨネーズ・醤油・わさびなどをつけたり、野菜・ハム・クッキーなどを挟んで、ビール・お酒・ワインのおつまみに、お茶受けにも最適です。また、そのまま召し上がっても、深い味わい、コクがご堪能いただけます。〔お問い合わせ・ご注文〕

母袋工房 TEL・FAX：0575-88-3156 メール：motai@giga.ocn.ne.jp

自慢のアスパラ、りんご、ぶどう

秋田県横手市



横手市は秋田県南部に位置する広さ全国有数レベルの横手盆地の中心都市ですが、冬の「かまくら・梵天」や最近では「横手やきそば」でもご存知の方もいらっしゃると思います。

農業が基幹産業であり、米の粗生産額は全体の50%以上を占め、米を中心とした複合経営農家が多数を占めています。しかし、転作の拡大や米価下落に抵抗すべく平成11年頃からアスパラの拡大に力を入れ、現在では60haを超える作付け面積と県内一の粗生産額を誇っています。

また、米に次ぐ主要農産物であるりんごについても高級品種「ふじ」をメインとし、市内の丘陵地を活かした栽培に取り組んでおり、収穫の時期になると丘が赤く色づき季節のうつりか

わりを知らせてくれます。

そして、大沢地区に広がるぶどう園は県内でも有数な産地として団地が形成され、キャンベル、巨峰類は品質・銘柄などで広く高い評価を得ながら観光農業を取り入れ、特色ある経営分化を図っています。

清里ミルクプラント

山梨県高根町



「私たちが未来に残せるもの」をコンセプトに、清里高原の酪農家たちが自ら厳選した清里産の牛乳を原料とする乳製品工房。青く広がるのどかな牧草地の景観を眺めながら、清里産の安全で新鮮な乳製品をやわらかな高原の光が差し込むカフェでご賞味ください。

原料乳は、冷涼な気候のもとで、非遺伝子組み替え作物（大豆、とうもろこし）の飼料で育てられた乳牛から搾られたものであり、大変安全な食品です。また、毎朝清里の酪農家から直接工場に運ばれ、その日のうちに加工処理されます。専門家による製品検査後、常に新鮮なままお客様にお届けすることが出来ます。

清里ミルクプラントこだわりの乳製品は、低温殺菌により自然の風味を大切にしたノンホモ牛乳(900ml、200ml)、生乳を100%使用した飲むヨーグルトとソフトクリーム、さけるチーズ・モッチアレラチーズ・カマンベールチーズ・ゴーダチーズの4種類のチーズなどメニューも豊富。また、ご贈答品として全国各地に宅配サービスがあります。 <http://www.kiyosato-milkplant.com>

## 地元産大豆を原料とした「こだわり豆腐」

## 埼玉県毛呂山町



埼玉県毛呂山町の農産物直売所では、「こだわり豆腐」がおいしいと消費者からの人気を得ています。これは、地元の農業女性組織である生活改善グループと、滝の入特産の里婦人部が、平成12年6月に「こだわり豆腐の会」を結成し、豆腐づくりによる起業化を目指して町加工施設において活動を開始したものです。

会では、食べる人の気持ちを大切に原料や製造方法にこだわり、誰もが安心して食べられる物を念頭に豆腐づくりに取り組んでいます。豆腐づくりの技術は、近隣に豆腐屋さんから直接修得するとともに、主原料の大豆は、町内の大豆生産組織との契約により安定的に良品大豆の供給を受け、天然にがりを用いて一つ一つ丹精を込めて手作りしています。消費者に馴染んでもらい長く愛用してもらおうと「こだわり豆腐」と命名し、

Aいるま野毛呂山農産物直売所で火曜、金曜の週2回販売しています。一口食べると、大豆の持つ香りや味が口の中いっぱいに広がります。価格は、1丁200円(250g、税別)で、直売所での人気商品ですので早めにお出掛けの上、是非ご賞味下さい。

【問い合わせ】毛呂山町加工研修センター TEL049-295-2206 または、役場経済課 TEL049-295-2112

【販売先】JAいるま野毛呂山農産物直売所 TEL049-295-3008

【アクセス】東武越生線「東毛呂駅」約200m、県道飯能・寄居線「毛呂本郷」交差点より約500m

## 無農薬の新宮茶をふんだんに使った「霧の森大福」

## 愛媛県新宮村



四国のほぼ中央に位置する新宮村は四国山脈と法皇山脈に囲まれた人口1,800人の自然豊かな山村です。村の特産は50年の歴史があるお茶で銘茶の産地として「新宮茶」の愛称で親しまれ20年前から無農薬栽培に取り組んでいます。「霧のもり大福」は無農薬有機栽培抹茶をお餅に練りこみ、餡と甘さひかえめの生クリーム、そのまわりにこしあん、そしてそれらを抹茶を練りこんだ餅でくるんだうえ、さらに抹茶をまぶしてあります。お茶の産地だからできるこのぜいたくさ。口に入れた瞬間の抹茶のほろ苦さ、ひとくち噛んだあとの、こしあんと生クリームのほどよい甘さ、これらが絶妙にマッチした味をどうぞお楽しみください。無農薬のお茶は一般にはあまり出回りませんが、新宮産のお茶は

すべて無農薬。だからこの大福も安心してお召しあがりいただけます。ぜひ一度ご賞味ください。

霧の森大福1箱(8個入)1000円

お問い合わせは 霧の森(電話 0896-72-0111)まで

## キャロットクッキング(にんじん料理レシピ集)

## 千葉県習志野市

習志野市は、昭和42年に国の野菜指定産地となり「ならしのにんじん」として、広く市民に親しまれ、東京、京葉地区、東北地区の市場にも出荷しています。

平成7年には、JA千葉みらい習志野支店(旧習志野市農協)の女性部が中心になり「にんじん料理銀行」をつくりました。

我が家の自慢料理、新企画料理など、にんじん料理のレシピを一般市民から収集貯めてもらい、情報交換(レシピの出し入れ)しながら利用する方法で、栄養価の高い内容豊富な料理銀行となりました。

現在、料理銀行は、JAの窓口、市の農政課を窓口として、73種類の料理を一冊にまとめた「キャロットクッキング」として紹介しています。

また、タウンテレビや講習会でも紹介していますので、ご利用下さい。<http://www.city.narashino.chiba.jp/>

夏の旬のたけのこの王様「緑竹」

鹿児島県日吉町



たけのこの王様「緑竹」はもともと、北緯25度が北限でした。

近年、鹿児島県でも栽培管理の技術向上が図られ形状品質もすぐれた筍が収穫できるようになりました。共同出荷体制も整い現在関東中京地区の料亭やホテルに高級食材として出荷しています。

日吉町では、遊休地の活用や転作作物として約6ヘクタールが植栽され町の特産品として推進しています。

収穫時期が6月中旬から11月中旬まで、筍のない時期に刺身で食べられます。

竹の研究者によりますと、アジアに約500種類の竹があるとのこと。その中で一番美味しい筍は「緑竹」と言われています。

す。渋味がなく筍の中味が詰まっています、食品分析の結果、アミノ酸系のグルタミン酸の数値が高く、繊細でまろやかな味です。

にぎり寿司、天ぷら、刺身、筍のステーキ、チーズ焼きは絶品で、和食、洋食、中華料理いずれにも利用いただけます。

限定販売品ですので、申込みから発送まで、少々余裕が必要です。

お問い合わせ先 江口漁協 日吉支所 TEL、FAX 099-292-2011

ごへ~もち

長野県山口村



山口村に伝わる「ごへ~もち」は、団子型に握ったものを、3つ竹串に差したものです。

昔は、秋の収穫が終わると、家庭で、集落で作って、秋の豊作を祝ったものです。たれは、落花生、胡麻、山グルミをベースに作られ、それぞれの味が楽しめました。

山口村では平成4年に村興し事業として、村の昔からの味のごへ~もちの製造販売を、国道19号線の岐阜県境に「木曾ごへ~本舗」を建設し行ってまいりました。又、毎年10月最後の日曜日には、中仙道、馬籠宿に於いて「ごへ~祭り」が開催され、村内20数箇所の集落から出店された、ごへ~もちが大好評をいただいております。

近年は、味の良さ、たべやすさがうけ、木曾の名物として、長野県の「味の文化財」にも指定されました。

「木曾ごへ~本舗」では年間を通して、各地からの御注文を賜り、発送いたしておりますので御用の方は下記までご連絡下さい。「木曾ごへ~本舗」 TEL・FAX 0573-75-5219(ごへ~にいく)

稲取キンメは日本一【金目鯛のおぼろ】

静岡県東伊豆町



東伊豆町は伊豆半島東海岸中央部に位置し、豊かな自然と海・山の幸、そして温泉を中心とした観光地です。そんな我がまちの数ある旨いもんの中から、今回は稲取漁港で獲れる「日本一の高目鯛」の郷土料理を紹介します。

【金目鯛のおぼろ】

(材料4人分)金目鯛...2kg(または、ほぐした身240g)、砂糖...120g、酒...少々、しょうゆ...少々、塩...少々、みりん...少々

(作り方)

金目鯛は頭と内臓をとって酒を入れた水でよくゆでる。(中骨が身から取れるくらい)皮とこまかい骨を取り除き、ザルに入れて流水で身を洗いほぐす。ふきんで包み、よく絞って水気を切る。

ほぐした身と砂糖、塩、しょうゆを入れて、弱火にかけて水分がなくなるまでよく炒る。火を止める直前に、みりんを入れて照りを出す。「げんなり寿司」稲取地区では昔から祝い事の際に作られる縁起物で幸運が授かるといわれている郷土料理です。

## わがまちの旨いもん

### 新潟市園芸銘産品

### 新潟県新潟市



くろさき茶豆



十全なす

新潟市は、県下有数の園芸産地であり、恵まれた自然条件、立地条件のもとで多種多様な作物が栽培されています。それらの作物のうち、市民が胸をはって全国に自慢できるものを「園芸銘産品」として指定する事業に平成11年度から取り組んでいます。現在、新潟市産「杓付阿賀」、「にいがた十全なす」、「くろさき茶豆」、「すいか」、「女池菜」の5品目が園芸銘産品に指定されています。「杓付阿賀」は出荷時期が7月10月で、花はボリューム・バランス・花もちともに良く、「阿賀に咲く、白の貴婦人」として親しまれています。「にいがた十全なす」は夏の食卓に欠かせない、なすの一夜漬けで、肉質がしまっていないながら、やわらかくて甘いのが特徴です。「くろさき茶豆」は、芳醇な香りと優雅な甘味、シャキとした食感に優れた茶豆でえだまめの王様と呼ばれています。新潟市砂丘地で作られる「すいか」は太陽の恵みを受けて育ち、甘くシャリ感のある果実です。「女池菜」は新潟の雪と寒さが豊かな甘味とほろ苦さを育て、春の訪れを告げる新潟の味覚の一つです。

<http://www.city.niigata.niigata.jp/info/sanki/kyoku/sosiki.htm>

### 美味しいさつまいも(甘藷)をどうぞ

### 熊本県大津町



阿蘇外輪山の麓に位置する大津町は、熊本県内一のさつまいもの生産地で、昔から良質のさつまいも(当町ではからいもと呼ぶ)が生産されています。そのわけは、阿蘇山の火山灰土系による土壌にあり、水はけが良いことから美味しい「からいも」がとれるのです。また、当町の農家が最初に考案した特別な貯蔵庫(コンクリート製)により、長期保存も可能で甘さが増します。

からいもは、低カロリーで食物繊維やビタミン(A、C、E)、カリウムなどが豊富で、健康食品として注目されています。特に、ビタミンCは、みかんと同じくらい(100g中30mg)あり熱にも強く、また、カリウムも含んだアルカリ性食品として、美容と健康に優れたスーパーキングといえます。

食べ方としては、「焼きいも」や「蒸かしいも」、「天ぷら」など一般的ではありますが、他にも「からいもチップス」や「からいもとセロリの酢の物」などもあります。当町の美味しいおやつにピッタリの「からいも」を是非一度、ご賞味ください。

問い合わせ先・・・J 菊池大津中央支所(096-294-1381)

<http://www.town.ozu.kumamoto.jp/>

### 日本一の生産量! 「わけぎ」のまち

### 広島県向島町



しまなみ海道の本州側から1番目の島、向島町岩子島地区は、日本一のわけぎ生産地です。瀬戸内海の温暖な気候と土壌がわけぎ栽培に適しています。

7月から11月にかけて植え付けを行い、9月から5月まで収穫されます。特に緑黄色野菜の不足する12月から3月までが旬です。葉先までつやがあり、葉がピンとはったものが新鮮でおいしいわけぎです。

わけぎの外観はネギによく似ていますが、わけぎは球根で栽培するため、根が少しふくらんでいるのが特徴です。

柔らかく、甘みがあり、香りもまろやかで、酢味噌であえる「めた」をはじめ、サラダ、炒め物、グラタンなど、和洋を問わずい

いろな料理に使えます。

栄養も豊富で、特に多いのがカロテン(ビタミンA)、ビタミンC、カリウム。肌荒れや目の疲れなどに効果があります。また、ビタミンB1を活性化するアリシンも含まれており、胃腸の働きを高めます。

暖かな日の光をいっぱい浴びた、向島のわけぎをぜひお楽しみください。

このコーナーでは、農村で活躍している女性(グループ)の取り組みについて紹介いたします。

### 一度、遊びに来てみんさい!

### 広島県湯来町



花草会とは、皆が集い・話し合いながら楽しい日暮らしがしたいと願い、平成8年度、広島市の奥座敷と呼ばれる“湯来町(ゆきちょう)”で発足したグループです。地元の元気なおばあちゃんを中心にその人柄や自然環境、活動に賛同した人たちの集まりです。休耕田を借り、野菜を育てたり、それを加工して、朝市を開いたり活動中です。平成13年8月からは、交流の場を広げようと、豊かな自然や文化を育む中国山地を背景に、様々な体験・交流事業を展開する“やまなみ大学”「元気なおばあちゃん達の知恵袋講座」の講師として活動を開始しています。1年に4回季節ごと

に湯来町の自然の恵みを使った手作り講座を開設。出前講座も受けるほどの盛況ぶりです。お陰で2年目の平成14年度(全215講座)人気講座では、みごと第2位に輝きました。今年の4月に行われた講座は「お花見編」。子ども達があんを丸めてつくたてのお餅に包んで仕上げるのですが、ちょっとあんこのはみでている餅もありますよ!そこで知恵袋のおばあちゃん達の登場。「お餅を広げて、あんを真ん中に置くんよ」見事なこと!さすがの一言です。湯来の自然の中で、恵みを最大限に活用できる人生の達人の知恵が随所に生かされた、そしてなにより温かい講座です。ふるさとのおばあちゃんがない人たち、ぜひ、会いに来てください。こころ安らぐこと請け合いです。次回の講座は「らっきょう作り編」6月25日(水)です。

### ふるさとの味「かっちゃん」

### 福井県勝山市



安全、安心を合い言葉に、こだわり野菜、米を生産している勝山市内の農家の女性グループ「あぜみち研究会」が、新鮮野菜をふんだんに使った軽食コーナーを開店しました。「あぜみち研究会」は、15年前から有機野菜の研究・生産に励んでおり、これまでも市内に直売所や観光農園を開設するなど農業のイメージアップに取り組んできました。

軽食コーナーは、福井県立恐竜博物館がある長尾山総合公園入り口付近に設置。「自然の活力」や「母ちゃん」などの意味を込めて「かっちゃん」となづけられました。軽食は、自宅で取れた米や野菜を持ち寄りながらサンドイッチやおにぎり、かき揚げなど旬の野菜を豊富に盛り込み、材料から調理まで手作りにこだわっています。

テイクアウト方式を取り入れており気軽に立ち寄ることができます。

メンバーは、「自然のままのおいしさを多くの人に知ってもらいたい」と意欲に溢れています。

開店時間は毎週金、土、日、月 10:00~18:00

### 「すそもの」からむらおこし

### 青森県脇野沢村

脇野沢村には生活改善グループと言うグループがあります。グループでは、赤カブの千枚漬けがとても人気です。農家で漬けられる、家庭的で飾らない味わいが人気の秘密のようです。この千枚漬けは、市場に出荷しても規格外で値打ちがつかなかった、俗に言う「すそもの」の赤カブを商品化しようと、脇野沢村産業課と生活改善グループが開発したものです。平成12年には、道の駅に隣接して開設した「いのししの館」内に加工所が完成、漬物づくりにはずみがつきました。現在、村で収穫される赤カブのうち2~3トンを漬物に加工し、むつ市や野辺地町など十三店舗の小売店に卸しています。このほかにも、鱈と並んで脇野沢の名物として定着した「いのしし」を使ったソーセージの開発も進めています。このように、身近にある自然と、日頃の生活の知恵をうまく生かし、個々の生活だけではなく地域を考えた活動をおこなっています。

## 私達、輝いています

### 花いっぱいのまちづくり活動「花クラブ」

### 滋賀県米原町



私たちは米原町地内で「花いっぱいのまちづくり活動」をしている「花クラブ」です。平成14年度までには、休耕田を活用してコスモス畑や菜の花畑をつくってきました。コスモスまつりや菜の花まつりを開催し、多くの方に花に親しんでいただきました。その他、町役場前に寄せ植えをしたり、米原町の観光拠点施設「醒井水の宿駅」を花で飾るなど、町民の方々にも観光客の方々にも米原町の景観に親しんでいただいております。

最近では花づくり活動だけでなく、可愛いトールペイントや、素敵なハンキングバスケットの講座などを開催し、みなさんとの交流をすすめています。

その他、町のイベントが行われる際には、花クラブの喫茶店を出店しています。平成14年度には近江中山道400年祭が米原町醒井宿でおこなわれ、空き店舗を活用して「喫茶 花の停留所」を出店しました。自慢のハーブティーが人気を集めています。

これからも、元気あふれる女性パワーで、「いつでも、どこでも」米原町のあちらこちらに花が咲いているような、明るいまちづくりを目標に取り組んでいきたいと思っています。 <http://www.maihara.com>

### 一緒に「こねこね体験」しませんか？

### 静岡県下田市



加増野ポーレポーレでは、「食」の体験を通じて、ひとりでも多くの人に農村の素晴らしさを実感してもらおうと、皆で力を合わせて頑張っています。その中でも自らの手で材料をこね合わせ、まさに「手づくり」を実感できる「こねこね体験」が自慢です。皆の「手」の温もりを感じられる体験で、一緒に楽しい時間を過ごしませんか？

・こねこね体験その1：「そば打ち」

「手づくり」・「自家製」の食べ物が見直されている今日この頃。自分の手でそば粉を「こねこね」して、麺棒で伸ばし、そば切り包丁で切って食べる。究極の贅沢体験の指導をしています。自分で作ったそばの味は格別！私達と一緒にゆとりの時間をすごしませんか？

・こねこね体験その2：「味噌作り」

地元加増野産の大豆や米を原料にして、赤穂の天塩を使った無添加味噌は、ポーレポーレ自慢の一品です。材料を皆で一緒に「こねこね」して、本物の「手前味噌」を作ってみませんか？味噌が出来あがるまでねかせている間も、私達のことを覚えていてもらえるように、一生懸命指導します。 <http://www.jaset21.com/polepole/>

### 農産加工グループ「土里夢（ドリーム）」へようこそ

### 岐阜県八幡町

私たちは、平成8年に設立された郡上八幡川合地区の女性加工グループ「土里夢（ドリーム）」です。地元の農産物を使い「伝承の味」の商品化に取り組んでおり、「えめし」（エゴマを使ったご飯）や「たくあんのパリッコ煮」などの製造をしています。加工品の評判は大変良く、地元で月2回開催される朝採市や各種イベント会場などで販売しています。その他地元農産物を利用した惣菜などの注文にも応じています。

・主な商品紹介

えめし、パリッコ煮、よもぎ入り三色ぼたもち、げんこつ、梅子ちゃん、ふきのとうま煮、南蛮煮、ふきのとう味噌、やくみ柚子、ゆず味噌、ゆずジャム、柚子べし、減塩梅、辛南蛮うま煮、大学芋、じゃがころ、赤たつ漬、えめしの素、なんばん味噌、ちらし寿司、味ごはん、赤飯、ねり梅、梅っこジャム、赤かぶ漬、栗おこわ、五平餅、朴葉寿司など

## 農産加工「ささゆりグループ」へようこそ

岐阜県八幡町

私たちは、平成5年に設立し、郡上八幡の口明方中央地区を中心に活動を進めている「ささゆりグループ」です。地元の農産物を伝承技術や会員の創意工夫によって調理加工し、次々と新しい商品を生み出してきました。味にもこだわりを持ち、おかげさまで地元ならず都会からのお客様にも「ふる里の味、香りがする」と好評をいただいております。

## ・主な商品紹介

焼き肉のたれ（辛口・甘口）・・・特徴（特産の郡上みそベース）

トマトピューレ・・・特徴（たっぷり水分を含んだ郡上産のトマトを使用）

梅ジャム・キウイジャム・トマトジャム

きくいもの粕漬・たまり漬・・・特徴（シャリシャリした歯ごたえ、酒の肴に最適）

たつ漬・・・特徴（ふるさとの味。地元の人に人気があり、売り切れ続出）

ほう葉寿司・・・特徴（ほう葉の香りとともに召し上がってください）

山菜おこわ・・・特徴（たくさんの具と風味が食欲をそそります）

## 「みず菜」を使った加工品の製造販売

京都府宇治田原町



宇治田原町では、新しい農作物として平成7年よりみず菜の栽培に取り組み、農家の皆さんが中心となる普及活動の中で、平成12年9月には京のみず菜ブランド産地の指定を受け、さらなる生産振興に取り組んでいるところです。

J A宇治田原みず菜生産部会女性部会のミセス美菜 S（会員21名・代表 西川さつき）では、みず菜生産振興の一環として、平成13年4月、加工活動に熱心な有志13名で加工部会を発足させました。

早速、同年度に京都府の助成事業（農村女性起業支援事業）を利用して加工施設を整え、昨年5月からみず菜を使ったクッキーやパンなどの製造販売を始めました。

今では、各種イベントや毎週土曜日にJ A宇治田原支店前で開催される「くれどき市」に合わせたの定期販売のほか、地元の子供達にもみず菜の美味しさを知ってもらおうと、町立保育園への納品にも取り組んでいます。

また、みず菜入りのコッペパンや食パンのほか、町特産品のてん茶（抹茶の原料）や古老柿を利用した新商品の開発など、幅のある加工活動の展開に向けた元気いっぱいの女性グループです。

## 「食による都市交流と地域活性化を目指して」

～NPO法人 京・流れ橋食彩の会の活動～

京都府八幡市

八幡市は、京都府西南部の木津川、宇治川、桂川の三川が合流して淀川となるほとりに位置し、古くから京の都や商業都市大阪の食をまかなう産地として栄える一方、都市化も進んできました。

NPO法人「京・流れ橋食彩の会」は平成13年7月に認証され、現在会員32名、5加工部会、3体験部会で組織運営されています。活動の拠点を市が平成14年4月に開設した都市農村交流施設「やわた流れ橋交流プラザ“四季彩館”」とされています。施設のオープンと同時に本格的に地元の農産物を使った加工や、そば、パン等の料理体験講座をスタートされました。伝統食や郷土料理をはじめ、自然を愛で慈しむ様々な行事やならわしが忘れられようとしている現在、地域の農業資源を使った固有の食文化を後世に伝える事を目的とされている全国でも非常に珍しいNPO法人です。採算を第一に考えるのではなく、郷土食や伝統食を昔ながらの製法で地元で採れた安全で安心な食材を使い、無添加でまごころを込めて日々、加工や体験講座を開催され市民とともに貴重な文化を保存、伝承されています。

また、会の活動に賛同された、市内の農家や担い手認定者の組織、農業青年クラブ、農業ボランティアの会などが、支援する関係も生まれています。 <http://www.shikisaikan.co.jp>

このコーナーでは、都市農村交流など地域間交流活動について紹介いたします。

広い畑で農業体験 / 埼玉県荒川中学校体験学習

北海道美瑛町



北海道のほぼ中央に位置する「丘のまちびえい」に埼玉県荒川村の中学生が農業体験を行うため訪れるようになったのが平成9年8月のこと。毎年、約50名の生徒が来町し、美瑛町の農家にファームステイします。本州から来た子どもたちは、まずは北海道の広大な大地に感動し、農作業に使用する大型機械に驚く。広大な畑での農業体験は、農作物や土に触れる貴重な経験であり、大家族の農家での滞在は、人の暖かさや協力しあって勤労する大切さ、「食」への感謝を知ることができる良い機会であるということから、荒川村教育委員会の体験学習事業として、現在も継続されています。

この都市と農村の交流によって、荒川村の子どもたちは、ほんの短い時間ですが、農村地域が持つ豊かな自然やおおらかな空間のなかでのびのびとし、第二のふるさとを作って自宅へ帰って行きます。大人になっても、美瑛の丘やそこで暮らす人たちのことを忘れることはないでしょう。

作るたのしさにおもいきり感動！

北海道八雲町



八雲町遊楽部公園内にある「八雲町活性化施設ファームメイド遊楽部館」は、八雲町の地域の特性を活かした手作り加工食品の体験及び農畜産物の付加価値を高めるとともに、都市と農村との交流を深める事を目的に作られた施設です。また、レンガや木等の自然素材をポイント的に使用した優しいイメージの外観で、八雲の「八」の字を意識して八角形の特徴あるデザインです。

ソーセージ・アイスクリーム・チーズ等の農畜産物の加工体験がどなたでも楽しむ事が出来、毎日のように女性グループの加工体験等でにぎわっています。また、町内外の小中学校の研修旅行等の加工体験受入もやっています。初めての方でも楽しめるように加工体験の指導に当たるインストラクターがいます。

公園内にはパークゴルフ場や多目的広場もあります。緑豊かな

風景で心も体もお腹も一杯になる事間違いなし！

開館時間は午前9時から午後10時まで、休館日は月曜日。施設使用料・インストラクター代等の詳細は、八雲町役場農林課 TEL01376・2・2111まで。<http://www.town.yakumo.hokkaido.jp/f-sangyo.htm>

都市と農村を結ぶ交流ターミナル「甲山いきいき村」

広島県甲山町

1996年11月「甲山いきいき村」は地元で採れた農産物をより新鮮・安全に販売する“都市と農村を結ぶ交流ターミナル”としてオープンしました。

この施設は、地域の人々はもとより周辺都市に住む人々のために、いろいろな情報提供を行うとともに、地域特産品の販売や加工も行い、併せて交流も行うことが出来る施設です。現在会員数は約250名でより消費者に信頼される生産活動を続けた結果、2001年度総販売額は約2億円に達しました。

今後も更に安全な農産物の供給を図るため、EM菌活用による堆肥づくりを進めています。ぜひお立ち寄りください。

ところ 広島県世羅郡甲山町大字小世良341-1 TEL 0847-25-0090 (FAX兼用)

施設内容 いきいき市場 ハーブ工房・農産物加工実演室  
農村レストラン トイレ・情報コーナー 他

営業時間 午前10時～午後6時 定休日 毎週月曜日  
但し、いきいき市場のみ(5月～10月)午前8時～  
(11月～4月)午前9時～

<http://www.fuchu.jp/kozan-1/>



## 田舎暮らしはじめてみませんか

### 吉和定住促進住宅入居者募集のお知らせ

### 広島県廿日市市



はつかいち市では、ご家族または、単身者の方を対象に良好な自然環境の中で生活し一定期間定住していただくための公営住宅の募集を行います。市外からの定住希望者も求めていますので、ふるってご応募ください。

#### 募集戸数

木造2階 3LDK 家賃45,000円/月 2戸

木造平屋 1K 家賃20,000円/月 1戸

住居入居募集の主な条件は、45歳までの方（木造2階は家族専用、木造平屋は単身、小家族まで）、義務教育終了前のお子さんがいる方、吉和地域に転居する方であること、家賃を支払う所得がある方、地域活動等に参加できる方です。入居期間は10年間以内又は同居の子の義務教育終了後3年を経

過した年のいずれか早い期日です。（単身入居の場合は45歳に達したとき）なお、募集は平成15年7月頃を予定しています。詳細は下記まで。

#### お問い合わせ先

広島県廿日市市下平良1 11 1 廿日市市役所建設部住宅営繕課住宅係

TEL 0829-20-0001（代） FAX 0829-32-1062

### 「新規就農」「田舎暮らし」を希望する方必見！

### 岩手県大東町

大東町では、過疎化や高齢化などにより農業の担い手が不足しておりますが、新規就農者の色々な支援制度を作りお手伝いしております。

その中で、町外からの就農者の皆さんから「空き家や遊休農地を借りたい又は譲ってほしい」という希望が多く出されたことから、町内にある譲渡又は賃貸借が可能な空き家や遊休農地を調査し情報提供すべく進めてまいりました。

この度、多くの皆さんのご協力により、空き家・遊休農地の情報提供が可能となりましたので、新規就農者の方々のご連絡をお待ちしております。

詳しくはホームページをご覧ください。

また、大東町では新規就農者の皆さんを応援するため、次のような町単独の制度を創設し支援しております。

ステップ1・・・「何時でも、誰でも、何でも」体験できる農業農村体験事業

ステップ2・・・高収益作物の花き（アルストロメリアなど）やトマト栽培の周年体験と技術習得の技術・経営研修事業

ステップ3・・・新規就農から3年間、経営が安定するまでの間、助成金を交付する新規就農者経営確立支援事業

このほか、施設整備や農用地取得への助成・貸金貸付等があります。お気軽にご相談下さい。

#### お問い合わせ先

〒029-0711 岩手県東磐井郡大東町大原字川内40 大東町役場 農林振興課 農業振興係

TEL 0191-72-2111 内線161、162、163 FAX 0191-72-2222

<http://www.town.daito.iwate.jp>

### 自然と共に！

### 岐阜県古川町

古川町笹々洞という30軒ほどの集落が、ホームページを作成し田舎暮らしを紹介しています。実際に移り住んできた方もみえ都会とは違う、田舎の良さを実感しながら暮らしてみえます。都会では考えられないかもしれませんが、地域の住民がすべて顔見知り、だけど他人の生活にふみいり干渉しているわけではなく、同じ集落の人そして同じ仲間という連帯意識の中で生活をしています。そして、何より最高なものは昔から残されている大自然、また、風習、人情です。都会ではうっとおしいと感じるものが全て残っています。

そんな、生活環境が整備され金銭的にも余裕をもてるようになった今の時代、人間が求めるものは心の充実感そして満たされた自然環境ではないでしょうか？その欲求を満たしてくれるのがこの集落です。居住を希望されまた、農業を始めたい方には地元の農業者の方が懇切丁寧に指導して下さり、自分で作った米・野菜・自給自足も夢ではありません。こんな夢みたいな田舎暮らしあなたも是非体験し、移り住んでください。お待ちしております。 <http://www6.plala.or.jp/ebisunosato/>

このコーナーでは、農業を始めてみたいと思っている方へ向けての市町村等からの情報等を紹介しております。

### 大三島町滞在型農園施設「ラントゥレーバン大三島」

愛媛県大三島町



**(施設概要)**

1区画300㎡前後の敷地に、滞在施設(木造3タイプ16棟)・菜園100㎡・ハウス3棟・公園があります。

(9棟・・・完成、7棟・・・平成15年10月完成予定)

**(利用条件)**

滞在は月に最低3泊6日間とし、野菜は有機栽培が基本。地域との交流を図るため、地域イベント等に積極的に参加する。その他の条件を遵守すること。

**(支援体制)**

地域農家、農業指導者による営農指導あり。

**(利用期間)**

1年契約(最長5年間更新可能)

**(施設利用料)**

30万円～42万円/年間(電気、上下水道使用量、ガス代等は自己負担)

### 道の駅あずの里いちはら「お米づくり体験参加者募集」

千葉県市原市



あずの里いちはらは、四季を感じることができ道の駅をキャッチアップに平成14年11月1日にオープンしました。施設は、隣接する市原市農業センターと連絡道で結ばれており、農産物直売所・物産コーナー・情報コーナー・軽食コーナー及び休憩コーナーなどがあります。このたび、あずの里いちはらでは、農家と都市住民との交流を促進するため、施設に隣接する自然豊かな水田を活用したお米づくりの体験イベントを企画しました。この企画は、市内の若い農業後継者の集まりであります「市原4Hクラブ」の協力によりまして、2回の田植え体験が盛況に終わり、今後、稲刈りなどの農作業体験をおこなっていただくとともに、釜戸で炊く新米の試食会などのイベントも計画しております。水と緑に囲まれた自然のなかで、農作業体験をしながら、自分で作ったお米を味わってみてはいかがでしょうか。あずの里いちはらでは、8月下旬から9月中旬に稲刈りなどを行うお米づくり体験の参加者を募集しております。

申込み内容 1口につき玄米5kg(ご希望により精米)  
 申込み金額 1口当たり3,000円  
 (1家族分体験参加料込みです。何口でも申込みが可能で3口以上はお得です。)

募集口数 300口(先着順) 申込み先 あずの里いちはら

問合せ 〒290-0251 市原市浅井小向492-1

0436-37-8891 FAX0436-37-8893

### 「はじめませんか農業!さあ、農作のフィールドへ!」

滋賀県長浜市

湖北・長浜は曳山まつりと子供歌舞伎に代表される秀吉による町衆分化が今も息づき、黒壁ガラスなど最近では“まちづくり”でも全国的に注目されるようになりました。しかしながら、地域農業を取り巻く環境は、農家戸数の低下や高齢化、担い手不足など厳しい状況が続いています。

こうしたなか、認定農業者など意欲ある農家と連携しながら地域農業の維持発展を目指し、「農業生産法人グリーンパワー長浜」(以下、GP長浜)が設立されました。GP長浜では、後継者や担い手対策として、平成10年度から実習プランとして 農業体験学習コースと、就農準備コースを設け、農作業の体験や農業者とのふれあいから、農業のプロを目指す方々まで、さまざまな支援を行っています。これまで5名の方が終了され、それぞれ新しく就農され、地域で活躍されています。

市でも、平成15年度から「はじめませんか農業・実習研修補助事業」として地域農業の将来を担う農業者が積極的に育成される環境の創造に努めていきたいと考えています。

花実の里「福舞里（ふぶり）プラン」スタート

福島県白沢村



白沢村では、桑園跡地などの遊休農地解消と特産品開発に向け、生食用とワイン用のぶどう苗150本と、もも苗150本を平成15年3月に新植しました。

この事業は地元の3件の農家が「岳山果樹生産組合」を設立し、村と福島県による1,000万円の補助事業として2.1ヘクタールの遊休桑園を抜根・整地及び土壌改良を行いながら実施したものです。

村では、自然や歴史などの「白沢村らしさ」を生かした農村環境を整備するための指針として、独自に花実の里「福舞里（ふぶり）プラン」を策定し、この事業を出発点に、国で推進している「むらづくり維新」の農村振興総合整備事業を取り入れて耕作放棄地45

3ヘクタールと未利用地345ヘクタールの解消をめざしています。このほ場は、キャンプ場として整備されている「岳山ふれあいの森」に隣接していますので、みなさんもぜひおいでください。

なお、福舞里（ふぶり）とは、福が舞う里の意味で、平成9年2月に白沢村で第1回全国七福神サミットが開催されるなど、七福神舞と関係が深いところから命名されました。

アンテナショップ情報

このコーナーでは、地域の特産物等が身近で購入できるアンテナショップやテナントの情報を紹介いたします。

あだちふれあい旬感プラザ

東京都足立区



平成15年3月29日、足立区に「あだちふれあい旬感プラザ」がオープンしました。ここでは、足立区の友好自治体である新潟県小出町、長野県山ノ内町、栃木県鹿沼市の特産品のほか、足立区内でとれた新鮮な地場野菜を販売しています。この事業は、区の補助を受け、商店街振興組合連合会が実施したもので、商店街に発生した空き店舗を活用し、起業の意思を持った人に仕入れ・販売・管理などを通して経営者に必要なノウハウを会得してもらう起業家支援の要素「地場野菜を取り扱うことによる「地産地消」の推進」友好自治体との経済交流の場としての活用の三つを大きな事業の柱としています。

木目を基調とした暖かみのある20坪ほどのショップには、魚沼から直送された本物の「魚沼産コシヒカリ」や全国納豆鑑評会最優秀賞を受賞した「大力納豆」をはじめ、多くの特産品や新鮮地場野菜が所狭しと並べられています。夏には、足立区の隠れた名品である枝豆も店頭に並ぶ予定で、「小出の市」等イベントも企画中です。お近くへおいでの際は、ぜひお立ち寄りください。

場所 東京都足立区綾瀬4-6-12( JR常磐線、地下鉄千代田線綾瀬駅西口徒歩1分)

問い合わせ先 あだちふれあい旬感プラザ 03-3628-5500

女満別町アンテナショップ「ほのか」

東京都稲城市

平成13年11月3日 稲城市と北海道女満別町との姉妹都市提携10周年を記念して、稲城市向陽台「ファイナフォーラム」内に『女満別町アンテナショップほのか』がオープンしました。

ショップでは、全国でも有数の高い日照率と肥沃な大地に育まれたじゃがいもや、たまねぎ、豆類など、生産者の愛情が伝わってくる女満別産特産品の数々を、格安の値段で販売しております。また、町の一部である網走湖産のわかさぎの佃煮、トマトジュース、しそジュース、サラダジュース、やさいジュースなどの加工品も取り揃えて、皆さまのお越しをお待ちしております。さらに、市内産じゃがいもの端境期には、学校給食調理場でも食材として使われており子どもたちも産地直送の大地の恵みを味わっています。今では季節限定の大粒のシジミやグリーンアスパラ、ながいもを心待ちにしている市民の皆さまも大勢いらっしゃいます。

「花と音楽の町」女満別を象徴する、白やピンクのじゃがいもの花、黄金色の小麦畑に加え、小麦の収穫後の肥料の効果を狙って畑に蒔かれる一面の「ひまわり」も農村景観として観光資源として脚光を浴びており、これらの写真やパネルも店内を飾っており、希望する方には販売しております。ぜひ一度お立ち寄りください。

平成15年6月から平成15年8月までの期間に全国各地で開催が予定されている様々なイベントを掲載しております。記事を読んで興味をもたれた方は、是非一度現地を訪れてみませんか。

世界そばフェスタin幌加内

北海道幌加内町



開催日 : 9月4日(木)~7日(日)  
 開催場所 : 幌加内町役場周辺(所在地 幌加内町字幌加内4699番地)  
 問い合わせ先: 世界そばフェスタ実行委員会事務局 TEL 01653-5-2021

そば作付面積日本一を誇る幌加内町は、平成6年から「そば祭り」を開催していますが10回目となる今回は、世界と言う名のもとでそば祭りを開催します。そばを食している世界10数カ国を幌加内町に招き、各国々のそば料理を提供(有料)してもらいます。

また、毎年行っている「そば食べ歩き広場」(有料)もエリアを拡大し、12都道府県から19店舗が勢揃いします。その他にも、一般来場者の方に、そばのことを知ってもらう「世界そばシンポジウム」や幌加内町独自の新品種の展示会など、内容はもりだくさんです。

<http://www.infosnow.ne.jp/horokanai/>

天間林みよこまつり

青森県天間林村



開催日 : 8月16日(土)  
 開催場所 : 天間林村中央公園  
 問い合わせ先: 天間林村役場産業課 0176-68-2116

青森県南地方の代表的な盆踊り「虎丈さま」で唄われている「天間のみよこ」にちなんだまつりで、芸能ショー、チャレンジゲーム、郷土芸能発表など多種多様なイベントが行われ、一日を通して子どもからお年寄りまで楽しめます。

中でも大人気なのが「みよこばんばレース」。それに「みよこ」扮した騎手を乗せ、5人がチームワークとパワーで一気にゴールを目指します。

また、夜は花火大会がおこなわれ、夜空を焦がす大輪の華が祭りの最後を飾ります。

<http://www.net.pref.aomori.jp/temmabayashi/>

とことんどろんこ遊びとお寺で集団疎開体験

栃木県黒羽町



開催日 : 8月2日~3日(土・日) 1泊2日  
 開催場所 : 黒羽町 片田観光ポッポ農園  
 問い合わせ先: ポッポ農園ファンクラブ事務局片田観光農園組合

那須の穀倉「片田」の土と地域の小さな歴史にこだわって、とことんどろんこ遊び・お寺で集団疎開体験を企画しました。

とことんどろんこ遊びは、田んぼの中で宝探しや魚の追いかっこなど楽しいゲームを用意しています。

また、宿泊はお寺の本堂、身近にあった集団疎開のお話を聞いたり花火をしたりちょっとだけのお寺修行も、子供たちに伝えたいこと普段体験できないことが待っています。夏休みの思い出づくりにぜひ親子で参加してください。

募集人数 先着50名(親子)でお申し込みください。子供育成会等单位でも参加できます。

参加料 大人1人6,000円 子供1人4,500円

持ち物 水着、ゴーグル、サンダル(泥だらけになってもよいもの。)

洗面用具、着替え、毛布等(キャンプ気分でご準備ください。)

申込方法 ポッポ農園ファンクラブ事務局に直接または電話でお申込ください。

## イベント情報

### 第20回ひじり三千石祭

長野県大岡村



開催日 : 8月3日(日)  
開催場所 : 聖山パノラマホテル・聖親水公園  
問い合わせ先 : 大岡村役場総務課 026-266-2121

都会の皆さんが山村の雄大な自然と素朴な人情に触れ、田舎の魅力を満喫していただきたい。そして、都市と農村の交流を促進したい。そんな目的で開催しているひじり三千石祭も今回はメモリアルの20回目。『こんな人タダで見られるの?』という著名なアーティストが出演する芸能ショー、清流の王者『岩魚』のつかみ採り、今年で15回目の開催となるミス聖コンテスト、各種遊具を揃えた子供天国など、盛り沢山の内容で老いも若きも楽しめるイベントで

す。あなたも『北アルプス一望の里大岡村』で素敵な夏の思い出をつくってみませんか。

<http://www.vill.oooka.nagano.jp/>

### オラッチェ王国祭

静岡県函南町



開催日 : 9月23日(予定)  
開催場所 : 酪農王国  
問い合わせ先 : 酪農王国株式会社 055-974-4192

オラッチェ開国6周年のイベント

こだわりの自社製品のお買い得販売やクイズラリー、じゃがいも宝探しゲーム、ファーマーズマーケット(丹那産の新鮮野菜市)、うまいもの屋台、乳搾り体験、手作りバター・アイスクリーム体験などご家族皆様でお楽しみいただけるイベントをご用意してます。

<http://www.oratche.com/>

### 第35回小杉まつり「小杉みこし祭り2003」

富山県小杉町



開催日 : 8月2日(土)  
開催場所 : 小杉町役場前道路周辺  
問い合わせ先 : 0766-56-1511

町制100周年を記念して、地域交流の促進と全国からも参加してもらえるような観光祭りを目標に、平成元年に誕生した「みこし祭り」。全国にみこし祭りが数多くある中で、手作り創作みこし祭りは、小杉が発祥の地と言ってもよく、約40基のみこしが繰り広げるパフォーマンスは、夏を彩る町の最大イベントであり、県内はもとより、県外からも多数の観光客が訪れ、町民と一体となって盛り上げます。

### 第11回はすまつり

福井県南条町



開催日 : 7月5日(土)~8月3日(日)  
開催場所 : 花はす公園  
問い合わせ先 : 南条町役場産業振興課 0778-47-8002

花はす生産日本一の南条町の世界中の花はす約90種が優雅に咲き誇る「花はす公園」で7月5日から1ヶ月間にわたり種々なイベントが開催されます。ハスの葉にお酒やジュースを注ぎ長い茎をストローにして飲む「象鼻盃」やハスの染料を使った「はす染め」や「藕紙作り」などの体験もでき、公園内の「瓜生の館」では、はすを題材にした「美術工芸品」の展示なども行っています。名物「はすうどん」「はす料理」もぜひご賞味ください。

<http://www.town.nanjyo.fukui.jp>

なら燈花会(とうかえ)

奈良県奈良市



開催日 : 8月6日(木)～8月15日(金)  
 開催場所 : 奈良公園内(浮雲園地、浮見堂と鷺池、浅芽ヶ原、奈良国立博物館、猿沢池と五十二段)  
 問い合わせ先: 社団法人奈良市観光情報センター 0742-27-8866

奈良公園内の5つの会場に約8,000本以上ものろうそくの灯りがゆらめく奈良の夏の風物誌。幻想的な雰囲気の中、ぶらりと夜の散歩を楽しむにはぴったりのイベントです。

また、その時期には、世界遺産を始めとする公園内の歴史的建造物もライトアップされており、日中とは違った古都奈良の魅力を再発見していただけます。 <http://1.sphere.ne.jp/naracity/>

筆まつり

広島県熊野町



開催日 : 9月23日(祝)  
 開催場所 : 榊山神社筆の里工房周辺  
 問い合わせ先: 筆まつり実行委員会 082-854-0216  
 全国一の筆の産地熊野町では、毎年9月23日(祝)に筆まつりが開催されます。

約20畳の特別布に大きな筆で一気に書き上げる「大作席書」や全国一のシェア(80%)を誇る「筆の都くまの」の業界が、毛筆、画筆、化粧筆、日本画筆、デザイン画筆を年に一度の特別価格で販売する「筆の市」、役目を終えた筆に感謝する「筆供養」。他にも「競書大会」や「一万本の筆通り」など日本一の筆の産地熊野町で

しか見ることの出来ない楽しいイベントがいっぱいです。全国からの観光客で賑わいます。

<http://www.kyosai.or.jp/~kumano>

五足の靴顕彰全国短歌大会

熊本県天草町



開催日 : 8月28日(木)、29日(金)  
 開催場所 : ジャルディンマール望洋閣(天草町下田温泉)  
 問い合わせ先: 天草町役場地域振興課 0969-42-1111

明治40年夏、与謝野鉄幹ら5人の若き詩人が天草を訪れました。世に言う『五足の靴』です。この短歌大会は、近代文学史にその名を大きく残した「五足の靴」一行を顕彰するとともに、文化の里づくりのひとつとして実施しています。

大会では、基調講演や即詠会、出詠歌の表彰及び短歌会などが行われます。今年の即詠会は、「五足の靴文学遊歩道」の散策や北原白秋の特別展を見学する予定で、どちらも「五足の靴」一行の足跡に触れることができます。

詳しくは天草町役場地域振興課まで。多数の出詠とご参加をお待ちしています。

<http://www.town.amakusa.kumamoto.jp>

白杵祇園祭

大分県白杵市

開催日 : 7月中旬  
 開催場所 : 白杵市祇園通り  
 問い合わせ先: 白杵市観光情報協会0972-64-7130

大分県下三大祇園祭の一つと言われ、祇園様と呼ばれ親しまれている八坂神社の夏祭り。寛永20年(1643)藩主稲葉通信のときに、ご神幸を行ったのが始まりといわれている。だんじり囃子もにぎやかに熱気を帯びた山車が町を駆ける勇ましさ。御輿の下を通ると無病息災が得られるとか。

<http://www.usuki-kanko.com/>

## イベント情報

### 宮古湾カッターレース

岩手県宮古市



開催日 : 海の日(7月第3月曜日)

開催場所 : 宮古市鯉ヶ崎魚市場前の宮古港

問い合わせ先: 宮古市産業振興部水産課

「海の日」に宮古港を会場に行なわれるカッターレース。

12人のクルーが息を合わせて速さを競う姿に、岸壁で見守る応援団から声援が上がります。

毎年、技自慢・力自慢のチームが白熱したレースを展開し盛り上がります。

「われこそは」という方は、チームを作って参加しましょう。女性の参加も大歓迎です。

<http://www.city.miyako.iwate.jp/>

### おながわ秋刀魚収穫祭

宮城県女川町



開催日 : 9月下旬

開催場所 : 女川魚市場特設会場

問い合わせ先: 0225-54-3131 (内232)

おながわ秋刀魚収穫祭は、女川を代表する「サンマ」をテーマとして、自然の恵みを享受できることへの感謝と喜びを表しているお祭りです。

会場内には秋刀魚の炭火焼、秋刀魚すり身汁や秋刀魚つかみ取りのメインコーナーを始め、秋刀魚格安販売や各種催物など、ご家族・お友達連れ何れの方々にも楽しんでいただけるよう盛りだくさんのイベントを用意して皆様のご来場をお待ちしております。

「海と緑と魚の町おながわ」に足を運んで、秋の味覚を満喫してみたいはいかがでしょうか。

<http://homepage.mac.com/onagawa/sanma>

### 2003しらさわ夏祭り

福島県白沢村

開催日 : 8月15日(金)

開催場所 : 白沢村民運動場・イベント広場

問い合わせ先: 白沢村観光協会 0243-44-2002

「夢と希望に満ちた四季の里・しらさわ」の村民総参加による祭りが、「2003しらさわ夏祭り」です。県内外から多くの方々にお出でをいただき、今年で18回目を迎えます。子ども盆踊りを皮切りに趣向を凝らした恒例の仮装盆踊り大会、衣装が奇抜なサンパフェスティバルそしてYOSAKOIと踊りの競演です。さらには、花火も打ち上げられ踊りもヒートアップ。また、団体賞や個人賞など景品も沢山用意しております。ご家族おそろいでお越しください。 <http://www.vill.shirasawa.fukushima.jp/>

### 第46回笛吹川県下納涼会花火大会

山梨県山梨市



開催日 : 7月25日(金)

開催場所 : 万力大橋下流

問い合わせ先: 山梨市商工会花火大会実行委員会 0553-22-0806

市内の商工業者が、市民の皆様へ日ごろの感謝の気持ちを込めて始めた伝統ある花火大会で、今年で46回目となります。県内でも最も早く開催する花火大会でもあり、4号玉、5号玉やスターメインなど約3,000発の色とりどりの花火が夜空に大輪の華と夢を咲かせます。夜店なども並び、多くの人で賑わい、しばし夜空を彩る花火に酔いしれます。

<http://www.city.yamanashi.yamanashi.jp>

かちやまワッショイ

福井県勝山市



開催日 : 8月14日(木)

開催場所 : 勝山市元禄線弁天緑地公園会場

問い合わせ先: 勝山市産業部商工観光課0799-88-1111(内線

272)かちやまワッショイは、8月13日から16日までのお盆の4日間に開催される「勝山夏物語」のメインイベントです。これは、約300年の伝統を誇る奇祭「勝山左義長まつり」の“左義長ばやし”をアレンジした曲によって自ら考えた踊りを披露するヨコイ系パフォーマンス大会です。

昨年は、市内外の小学校からお年寄りまで20チーム約1,000人の踊り子が参加し、折からの雨さえものともせず、熱いパフォーマンスを繰りひろげました。

今年の夏は、ぜひ勝山市へおいでいただき、かちやまワッショイのエネルギーを肌で感じてください。

<http://www.city.katsuyama.fukui.jp>

デンパークサマーナイトフェス

愛知県安城市



開催日 : 8月9日(土) ~ 8月17日

(開催場所 : 安城産業文化公園 デンパーク

問い合わせ先: デンパーク企画宣係 0566-92-7111

デンパークでは、8月9日(土)から8月17日(日)まで「デンパークサマーナイトフェス」を開催します。夏の夜にぴったりの手筒花火のショーや浴衣コンテストなど楽しいイベントが盛りだくさん。イルミネーション輝く光のデンパークをお楽しみ下さい。また、花の大温室加藤プレイスでは、「トピカワワーショー」を開催します。南国ムード漂うフラワーディスプレイをぜひご覧下さい。イベント期間中は夜9時まで開園時間を延長します。光と花の共演をお楽しみ下さい。また、隣接の道の駅デンパーク安城では、梨・いちじくなどの

特産品や旬の野菜などの販売も行っておりますので、ぜひお立ち寄りください。

<http://www.katch.ne.jp/~denpark/>

いばらき湖沼環境フェスティバル

茨城県土浦市



開催日 : 7月20日(日)

開催場所 : 土浦市

問い合わせ先: 茨城県霞ヶ浦対策課 029-301-2983

霞ヶ浦をはじめとする湖沼に直接ふれあう場を提供することにより、湖沼を身近に感じてもらい、水質浄化に対する意識の高揚を図るため、行政や市民団体等によるテント出展のほか、ステージイベントや湖上イベントを行う。

緑と清流のルネッサンス

奈良県大和高田市



開催日 : 7月11日(金)

開催場所 : 大中公園と周辺の高田川

問い合わせ先: 大和高田市公園緑地課 0745-22-1101

緑と清流のルネッサンスは、市制50周年記念事業のひとつとして始められたもので、高田川に美しい清流をよみがえらせ、蛍の飛び交う豊かな水辺空間を復活させるための楽しいイベントです。

大中公園、桜華殿での能、狂言をはじめ、仕掛花火、模擬店など多彩な催しが、多くの市民団体協賛のもとに、“自然と環境を考える市民フェスティバル”として開催されます。

夏の宵のひとつに、ご家族そろってお出かけ下さい。

## イベント情報

### いろは島フェスタ・シーカヤック大会

佐賀県肥前町



開催日 : 7月20日(日)  
開催場所 : いろは島海水浴場 佐賀県東松浦郡肥前町大字満越  
お問い合わせ先 : 0955-54-1113  
伊万里湾に浮かぶ小島嶼郡は、総称して「いろは島」と呼ばれ、玄海国定公園に位置します。その美しい景観の中、カラフルなシーカヤックが一斉にスタートし、選手たちは2.0kmと5kmのコースに分かれレースに挑みます。真夏の日差しを受け、九州各県、遠くは関東地方から参加した選手たちは懸命にパドルを漕りゴールを目指します。選手の健闘を称える表彰式の後は、選手、スタッフ、観戦者等が玄界灘産の海の幸を囲み交流を図ります。交流会では町の特産品等を賞品にした抽選会等で賑わいます。<http://www.saganet.ne.jp/hizen/>

### 玄宮園で虫の音を聞く会

滋賀県彦根市



開催日 : 9月1日(月) ~ 30日  
開催場所 : 国宝彦根城内玄宮園  
お問い合わせ先 : 彦根観光協会 0749-23-0001  
初秋の彦根のイベントとして定着している虫の音を聞く会は、江戸文化の贅をつくした池泉回遊式庭園で国の名勝指定を受けている玄宮園で行われる風流な催しです。  
国宝の彦根城天守に映える月を愛で、マツムシやスズムシなどの虫の音に耳を傾けながら野点の茶会が楽しめ、また、船上の雅楽演奏は名園の美しさを引き立てるもので、情緒的な雰囲気たっぷりの彦根ならではの観月の宴です。都会では決して感じることの出来ないゆったりとした時の流れが味わえます。この虫の音は、彦根城の時報鐘の音とともに、「日本の音風景百選」に選ばれています。<http://www.hikoneshi.com>

以上の情報の収集に当たりましては、都道府県関係課の多大なるご協力をいただきました。心より御礼申し上げます。

## 事務局からのお知らせ

### 皆様からの情報提供をお待ちしております

季刊誌「新往来」は皆様からお寄せいただいた情報で構成されています。地域の自慢やイベントの案内など全国に向けて発信したい情報がありましたら是非ご連絡下さい。なお、次号(第10号)につきましては、平成15年9月頃の発行を目標としております。7月下旬から編集作業に入りたいと考えておりますので、その頃までに各都道府県又は下記連絡先まで御連絡下さい。全国各地の方々に「交流」に関する多くの情報の発信を行うため、皆様からお寄せいただいた情報については、できる限り掲載するよう努めておりますが、誌面スペースの関係上掲載できない場合もありますので、あらかじめご了承下さい。

### 原稿の提出方法について

- ・「イベント情報」以外の各記事につきましては、**原稿400～500字程度**並びに記事に関連する**写真・イラスト**などを添えて提出して下さい。
- ・「イベント情報」につきましては、**原稿200～300字程度**並びに、「開催日」・「開催場所」・「問い合わせ先」の必要事項を添えて提出して下さい。関連する写真などがありましたら併せて提出して下さい。

編集・発行 : 農林水産省農村振興局農村政策課 (担当 = 松本・清水・村田)

東京都千代田区霞が関1-2-1 〒100-8950

TEL:03-3502-8111(内線:4619) FAX:03-3595-6340